

## 令和7年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2 単位
区分	必修	配当年次	1 年次

### 1 科目の目標

- ① 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- ② 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- ③ 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
評価の観点	①学習内容について理解している。 ②適切かつ効果的に情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。	①学習内容について多面的・多角的に考察し、表現している。	①意欲的、主体的に理解や考察を進め、工夫してまとめ、表現しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

	知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
	①情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能の習得度合 ②情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等において，情報と情報技術の理解と習得度合	①情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだしているか ②問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できているか	以下の態度について評価を実施 ①情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守るようとする態度 ②情報セキュリティを確保しようとする態度 ③情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度

### 4 年間指導計画

		学 習 の 内 容	考査	時数
前 期	4月	序章 情報社会と私たち	定期考査①	15
		第1章 情報社会と問題解決 問題解決 情報社会における法規と制度 情報セキュリティと個人が行う対策		
	5月	第2章 メディア	定期考査②	15
	6月	コミュニケーションと情報デザイン コミュニケーション 情報デザインと表現の工夫 コンテンツの制作		
7月	第3章 情報の表し方	定期考査③	16	
8月	情報とコンピュータ			
9月	コンピュータ 情報機器とコンピュータ			
後 期	10月	第4章 アルゴリズムとプログラム アルゴリズムと基本構造 プログラムの基礎 プログラムの応用	定期考査④	16
	11月	第5章 モデル化 モデル化とデータの活用 シミュレーション データの活用		
	12月	第6章 ネットワークの仕組み	定期考査⑤	16
	1月	ネットワークと情報システム 情報システムとサービス		
	2月	情報システム 情報セキュリティ		

### 5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

日頃から新聞やニュースなどを見聞きし、情報社会全般について関心を持つこと。また授業を大切にし既習事項を自分なりにまとめ、さらにまとめたことを発表できるようにする。

### 6 教科書・副教材

教科書・・・『図説 情報 I』（実教出版）